

## SNSを通して見える未来

大手前丸亀高等学校 2年 コレスニク華梨奈

### SNSを通して学べること

私たち現代人は常に SNS と隣り合わせだ。劇的に進化したスマートフォンを常に持ち歩き、スマートフォンがないと生きていけないというように、まるで自分の命同等にみなす人もたくさんいる。

今まで現金やカードで支払いをしていたものが今やスマートフォンをかざすだけで支払うことができる。また、アプリでその家のセキュリティを管理できるものもあり、今はまだ少ないが、家の鍵の役割も出来るようになっていくし、これからどんどん増えていくと思う。このようにたくさん便利に思われるスマートフォンだが、一歩間違えるとたくさんの危険が待ち受けている。その原因となるものが SNS なのだ。SNS を使うということは常に危険を伴っているということも出来る。

まず、そもそも SNS とはどのようなものなのか。SNS を使っている人に SNS とは何かを聞くと全員さらっと答えられるのだろうか。私は答えられない。普段から何時間も使っているにも関わらず、答えられないのだ。もちろん「便利なもの」「危険なもの」とみんな答えるだろう。しかし、それは SNS を根本から理解できているのだろうか。SNS の媒体を挙げることは実に簡単だ。世の中には様々な SNS がある。Twitter、Facebook、Instagram、LINE、この4つが代表されるだろう。SNS はやっていてとても楽しく、多くの者がのめりこむ様にしている。例えば、友達とご飯に行ったとする。SNS が発達するまでは、みんな料理が運ばれてくるまで楽しそうに会話していたが、今は一人一人が SNS をしてそれぞれの世界に入っている光景をよく見るだろう。SNS 上でのトラブルはたくさんある。毎日のように炎上が起きたり、LINE などでの問題も続発している。便利なものはその分悪い点もたくさんあり、悪い面がどうしても目立ってしまうのだ。

しかし、私は SNS による利点を過大に評価したい。

震災から5年、いま応援できること。



3.11、検索は応援になる。

Search for 3.11



これは Yahoo!Japan が行っているインターネット上での東日本大震災の募金活動だ。Yahoo!Japan で 3 月 11 日に「3.11」と検索すると一回につき 10 円が寄付されるようになっている。現代ならではの募金の仕方である。毎年行われており、たくさんの人が参加している。

そしてこれをもっと広めるために活躍するのが SNS だ。有名人や芸能人もたくさんこの活動に参加しているので、自身の Instagram や Twitter に自分が 3.11 と検索した Yahoo!Japan のスクリーンショットを投稿している芸能人や有名人がたくさんいる。そしてこのように、フォロワー数が多い影響力のある芸能人や有名人が自分が募金をしたと拡散することによって、それを見た人々が私もやろうと参加し、さらに募金する人が増える。SNS はたくさんのトラブルがどうしても目立ってしまうが、その一方で多くの情報を発信しているといったたくさんの利点があることを忘れないでほしい。

また他の利点をあげるとするならば災害時だ。災害時は何よりたくさんの情報を素早く得ることが必要となる。この場合でもやはり SNS が活躍する。これは Facebook が東日本大震災を受けて作った災害時情報センターというサービスだ。



災害発生時、本機能でできることは以下のとおりです。

- ・Facebook 上でつながっている友達や家族に自分が無事であることを知らせる
- ・災害の影響を受けた地域にいる人の安否を確認する
- ・Facebook 上でつながっている友達の無事を報告する

(<https://ja.newsroom.fb.com/news/2014/10/safetycheck/>)

もしこのような SNS がなければ家族や友人の安否を確認するのにとても時間がかかるだろう。素早く安否を知ることは不可能である。そして、西日本豪雨でも

たくさんの人が SNS を活用し、たくさんの人が救われた。

広範囲にわたる自然災害となったとき、多くの人が電話で警察や消防、自治体へ助けを求めることになり、回線の混雑や障害によって電話での救助を思うように要請できないようなケースもあるかもしれません。また、これは一部の人に限られますが「スマホで格安 SIM を使う人」も電話をかけられない場合があります。

近年では格安 SIM の普及によって「電話をかけることができないけれども、ネットはつながる」ような、音声通話 SIM ではなくデータ通信専用 SIM を契約したスマートフォンを持つ人が増えています。このときの頼りどころは、どうしてもネットにならざるを得ません。

インターネット上でこうした被害に関係した投稿を確認できるのは Twitter が最も多いのではないのでしょうか。東日本大震災の発災をきっかけに、Twitter をはじめとする SNS で救助を求めるケースが増えておりインターネット環境さえ生きていれば、大多数の人に対して救助を求める声を挙げられるのが SNS に救助を求める最大のメリットです (<http://ascii.jp/elem/000/001/706/1706627/>)。

このように災害時の SNS による利点がたくさん挙がっている。実際私も Twitter で支援物資を必要とする人が、これを求めています！と必要なものを箇条書きにしたツイートが回ってきたことが何度もある。地震が起きたときに、対策や気を付けるべきことが回ってきたこともあるし、お互いにみんな大丈夫だった？などと声を掛け合ったこともある。ここでは主に Facebook と Twitter を扱ったが、このように SNS の主な利点は多くの人に一気に情報を拡散できることにあると思う。いちいち調べなくても、災害が起きたときに SNS を開けば、そこにはもうすでにたくさんの情報が回っていて、様々な情報を一度に手に入れることができる。これが SNS 最大の利点なのだ。

何が SNS で何が SNS でないか明確にできなくなっている

(<https://matome.naver.jp/odai/2147487173384400501>)。

SNS は基本人とつながるものとして理解されている。本来は個人的なものだったのにいつの間にか使う人が増え、気づいたらたくさんの人とつながっており、SNS と認識されるようになったものも多いようだ。SNS 上で人とつながることに抵抗がある人が非常に多い。私はそれほど抵抗があるわけではなく、いろんな人とつながり意見を共有したいという考えを持っている。実際私は SNS 上でつながってとても仲良くなった子がたくさんいる。LINE も交換して、時には電話をしたりする仲だ。実際に会ったことはないが、みんな会ったことがないとは思えないほど仲が良く、早く会いたいねとよく話し、お互いの共通の趣味のイベントがある時には会う約束もしている。SNS がなかったら出会えていなかったんだと SNS に感謝している。

我々はみな SNS の悪い点ばかり見ている。何のために SNS が開発されたのか。

たくさんの人とつながり、情報を集め、意見を共有するためではないか。それなのに、SNS 上で悪だくみをしてたくさん問題が起こり、SNS は悪いイメージで捉えられてしまっている。親が子供にスマートフォンを買う際に危ないサイトへ飛ばないようにフィルターをかけたりすることも多い。しかし、いつまでもそうしてはいられない。これからもっともっとインターネットが発達し、SNS も増え、たくさんトラブルが出てくるだろう。想像できないほどに世の中は便利に便利になっていく。だからと言って悲観視せずに、そのトラブルに自分が巻き込まれないように自分の事は自分で守り、ちゃんと自分の意思で判断し行動する必要があるのではないか。ひとりひとりが SNS の危険を理解し、SNS をフルに活用にして世の中を便利に住みやすくしていくことが重要であり、それが SNS が存在する意味なのである。